

春光うらかな好時節を迎えま
した。
本年四月より、曹洞宗静岡県第一
宗務所青年会第十三期会長を拝命す
る事になり、ここに謹んでご挨拶申
し上げます。
宗務所管内御寺院様におかれまし
ては、日頃より青年会活動に対しま
してご理解ご協力を賜り心より厚く
御礼申し上げます。
平成五年に「曹洞宗静岡県第一宗
務所青年会」が発足して以来受け継
がれてきた法灯を絶やさぬよう、勤



第13期会長
西村 隆昌

緩歩

かんぽ
— 第12号 —

【題字】
山 鐵 丹 院 慶 洞

め上げていく責務の重大さを痛感し
身の引き締まる思いがいたしてあり
ます。
お蔭様で当会の活動内容も年々充
実し、発足当時より続いております
花まつり行事、歳末助け合い托鉢、
年間を通して様々な研修会を開催す
る中で日々研鑽に励んでおります。
これも偏に歴代会長様をはじめOB
諸老師方のたゆまざる活動の積み重
ねにより築き上げられたものと深く
感謝いたしております。
今後更に当会を発展させていく為
には会員相互のより一層の資質向上
を図ることが必要不可欠であります。
会則の目的にある「宗門の精神を基
にし、宗教者たる自覚をもって研鑽
に励み、教化導に奉仕し」を達成す
る為に、まずは会員の意識向上を図
ることが必要であると感じておりま
す。更にそれを基礎にして青年僧な

らではの長所を活かした、
地に足がついた柔軟な活動
を展開していく必要があり、
それにより得た知識や経験
を檀信徒・地域へ伝えてい
く事が大切であると思いま
す。
昨今は情報化社会の中で、
様々なツールで多種多様の
情報を得る事が出来る時代
であります。しかし、この
様な時代だからこそ人と向
き合い心の通う人間関係が
必要ではないのでしょうか。
OB諸老師方から受け継
がれてきた青年僧が在るべ
き姿、「想いをすぐに実行
に移す」事ができる体制を
保ち今後も新たな活動に向
かって邁進していきたいと
思っております。二年の任
期中、会員諸兄・執行部諸
兄には一層のお力添えをお
願い申し上げます。
結びに、管内御寺院様に
は、青年会活動に対しまし
てより一層のご指導ご鞭撻
を賜りますようお願い申し
上げ、就任のご挨拶とさせ
ていただきます。 合掌



賛助御礼

- ・1-6 瑞龍寺様
 - ・1-7 元長寺様
 - ・2-34 洞慶院様
 - ・3-65 富慶寺様
 - ・4-112 石蔵院様
 - ・6-152 宝持院様
 - ・6-159 玄清寺様
 - ・6-165 光明寺様
 - ・6-181 興福寺様
 - ・8-388 林叟院様
 - ・8-391 十輪寺様
 - ・8-393 弘徳院様
 - ・10-464 正泉寺様
 - ・11-495 普門院様
 - ・11-500 洞源寺様
 - ・11-501 養徳寺様
 - ・13-556 信香院様
 - ・14-26 宝珠院様
 - ・15-93 鳳林寺様
- 青年会の活動に多大なるご支援
ありがとうございました。
青年会一同九拜

卒会者紹介

- 八教区 瑞應寺 杉山隆元 師
 - 十教区 円良寺 加藤宣周 師
 - 十一教区 釣月寺 加藤龍真 師
 - 十二教区 高岳寺 溝口信行 師
 - 十三教区 不岩院 久保隆幸 師
 - 十三教区 成道寺 伊久美一也 師
 - 十四教区 泉秀寺 市川輝博 師
- 長い間お疲れ様でした。これから
もご指導よろしくお願ひ致します。
よろしくお願ひ致します。
これからの活躍を期待します。

新入会員紹介

- 七教区 福聚院 青野仁映 師
- 七教区 松岳寺 山田勇輝 師
- 十一教区 龍雲寺 倉見淳光 師
- 十四教区 大雲寺 新村彰啓 師
- 十五教区 法幢寺 川合義隆 師

前会長退任挨拶

第十二期会長 磯田辰哉
会長の任を仰せつかり第十二期青
年会発足から気が付いたら二年の月
日が流れておりました。青年として、
宗侶として何が出来たかを模索しな
がら委員会事業や研修会を通して研
鑽して参りました。
初年度には第三十九回東海管区曹
洞宗青年会大会(大大会)主管という
大きな担いがありました。宝珠
在掌」をテーマに掲げ、東・中・西

各地区の特色を活かした事業を行い、
無事円成することが出来ました。ま
た、平成二十八年熊本地震の際には
ボランティア活動に赴き、宗侶とし
ての自覚を持ちながら活動させて頂
きました。
管内御寺院様におかれましては常
日頃より青年会に対し、ご支援ご協
力を賜り、更には十二期全ての事業
に対しましてご指導・ご鞭撻を賜
り誠にありがとうございました。十
三期も引き続きご指導賜りたく茲に
お願い申し上げます。 合 掌

編集後記

委員諸兄の協力のお蔭をもちまし
て広報委員長の任を無事務めさせて
いただくことが出来ました。青年会
の諸活動を記録して発信するにあた
り、どの様な文章表現をすれば相手
に的確に伝わるのか非常に考えさせ
られました。今後この二年間の経験
を無駄にすることないよう精進して
いきたいです。[広報委員長●増田美源]

取材は元より載せる文章に細かく
配慮し、青年会員の活動や意志が分
かり易く且魅力的に伝わるよう意識
しながらの校閲は、難しくも有難い
体験だった。 [東部●岩佐剛昇]

現代はパソコンの普及により編集
がしやすくなってきたとはいえ、誤
字脱字や言い回しなど細かく見直し
をし、皆様にしやすい文面にするよ
う心掛けました。 [西部●山田康淳]

発行	曹洞宗 静岡県第一宗務所青年会
事務局	静岡市身成4-8-3 清源寺内
発行責任者	西村隆昌
編集	曹洞宗静岡県第一宗務所 青年会広報委員会

■ **平和祈念托鉢**
十一月十一日、青葉シンボルロード・駿府公園内にて毎年恒例の平和祈念托鉢を行いました。皆様からいただいた浄財(二八、四〇五円)は、SVA(シャンティ国際ボランティア会)アジア子供募金に寄付いたしました。

■ **教化研修会**
十一月二十四日、教化研修会として愛知県にある正法寺様(愛知専門尼僧堂)と萬松寺様に拝参しました。正法寺様では僧堂をお借りして坐禅をし、また青山俊董堂頭老師より講義をしていただきました。萬松寺様では近代的な納骨堂を拝観させていただきました。

■ **臨時総会**
十一月二十五日、瑞龍寺様を会場として臨時総会が開催され、第十三期会長・副会長の承認と青年会会則改定案が慎重審議され、承認されました。また、五月の熊本地震災害ボランティア活動についての報告も行われました。

■ **歳末助け合い托鉢**
東部・中部・西部各地区にて歳末助け合い托鉢を行いました。東部地区は十二月二日に沼津駅周辺にて行い、浄財(六三、八六三円)を静岡共同募金会に寄付いたしました。中部地区は十二月八日に青葉公園

■ **安住予定者研修会**
十二月二十八日・一月三十一日の二日にかけて養源院様を会場として安住予定者研修会を行いました。これから上山を志す青年宗侶の負担を少しでも軽減すべく、青年会員が指導しました。

■ **ボランティア研修会**
二月七日、洞雲寺様を会場として傾聴ワークショップ研修会を行いました。傾聴活動の経験が少ない会員でも、被災者と心を近づけ寄り添えるよう、実際にスノードーム等を作成しました。

■ **献血活動**
二月十九日、静岡セントラルスクエアにて献血および献血呼びかけ運動を行いました。午前九時半より午後四時半頃まで行い、六十名の方に献血をしていただきました。

■ **教化研修会**
二月二十八日、教化研修会として袋井市の可睡齋様に拝参しました。御祈祷法要の見学や諸堂拝観をした後、法堂内にて可睡齋式の祈祷太鼓の研修を行いました。実際に太鼓を叩かせていただくなど、非常に充実した研修会となりました。



歳末助け合い托鉢



教化研修会(正法寺)



教化研修会(可睡齋)



ボランティア研修会(傾聴ワークショップ)

■ **ボランティア研修会**
昨年度三月三十日、洞雲寺様を会場としてDIG研修を行いました。県中部危機管理局の方にお越しただいて講義をしていただいた後、各班に分かれて地図を使って防災対策を検討し、そこで出た意見を報告し合うことよって、より深く防災意識を掘り起こすことが出来ました。

■ **花まつり**
四月八日の花まつりにちなみ、東部・中部・西部各地区にて花や花の種を配布しました。配布している最中にご老人より「去年もらった花がきれいに咲いて嬉しかった。今年も配っていると思うて来てみた。」との言葉をいただきました。

■ **第二十四回定例総会**
四月十一日、静岡グランドホテル中島屋において第二十四回定例総会を開催し、各議案が慎重審議され全て承認されました。また、定例総会に参加された卒会者七名一人一人より長年青年会員として活動してきたその思いと、現会員への今後の励ましの言葉をいただきました。

■ **熊本地震災害募金活動**
東部・中部・西部各地区にて熊本地震災害募金活動を行いました。東部地区は四月二十五日に沼津駅周辺にて、中部地区は四月二十二日に静岡

岡駅周辺と青葉公園周辺にて、西部地区は四月二十一日に島田から焼津間の各駅周辺にて行い、各地区で集まった募金(合計七四九、九六五円)は熊本県社会福祉協議会義援金に送金致しました。

■ **熊本地震災害ボランティア活動**
五月八日・十日、磯田会長をはじめ十一名の青年会員が熊本地震災害ボランティアとして現地に行き、益城町内でのボランティア活動を行いました。現地は瓦礫や倒れた家などがそのままの状態です。手付かずの場所も多くみられ、長期的な支援活動の必要を感じました。

■ **第七十二回宗務所主催春季スポーツ親睦会**
六月十六日、焼津体育館において第七十二回宗務所主催春季スポーツ親睦会が開催され、OB・東部・中部・西部の混成チームを六チーム編成してバレーボールを行いました。笑いあり、フライングありの白熱した試合が繰り広げられました。

■ **第七十三回宗務所主催秋季スポーツ親睦会**
十月十四日、エスパルスドリームフィールド駿東において第七十三回宗務所主



第24回 定例総会



ボランティア研修会(DIG研修)



第72回 宗務所主催春季スポーツ親睦会



熊本地震災害募金活動

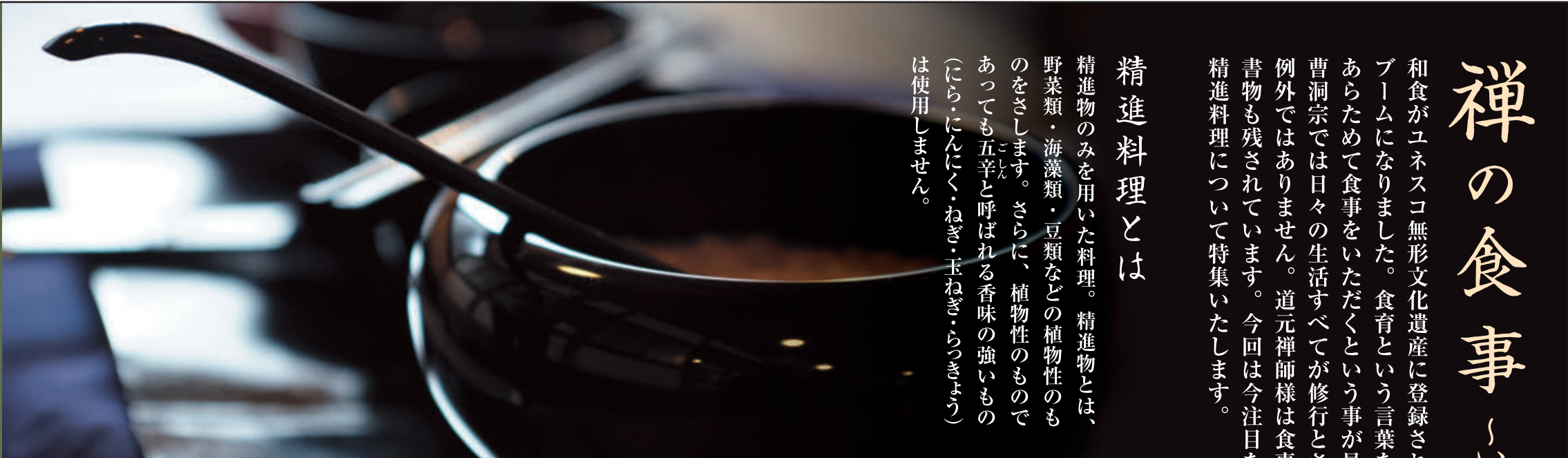
平成二十八年度 活動報告

禅の食事 いただくきもち

和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、世界中でブームになりました。食育という言葉も聞かれました。あらためて食事をいただくという事が見直されています。曹洞宗では日々の生活すべてが修行とされ、食事もまた例外ではありません。道元禅師様は食事に関する書物も残されています。今回は今注目を集めている精進料理について特集いたします。

精進料理とは

精進物のみを用いた料理。精進物とは、野菜類・海藻類・豆類などの植物性のものをさします。さらに、植物性のものであっても五辛と呼ばれる香味の強いもの(にら・んにく・ねぎ・玉ねぎ・らっきょう)は使用しません。



典座

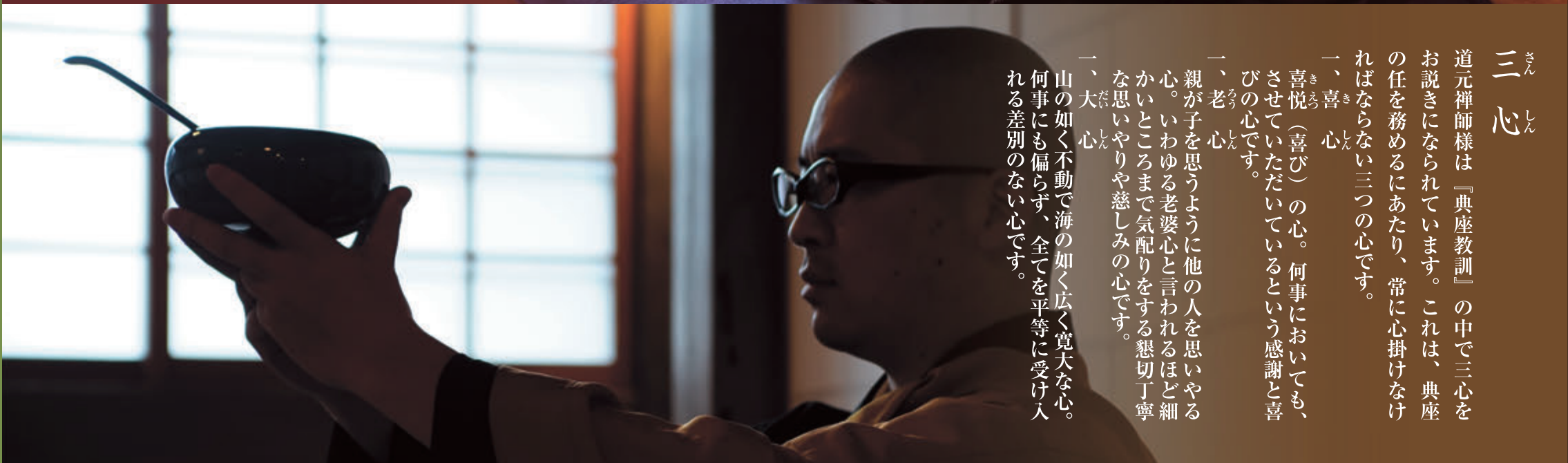
禅宗寺院における役職の一つで、仏様や祖師方への供膳や修行僧の食事を司っています。道元禅師様は典座という役職を特に重視され、中国より帰国の後に『典座教訓』という書を著し、典座の任に当たる者として食材を調理する際の心構えなどを事細かに記されました。そこには、ご自身が体験された二人の老典座との出会いから、当時日本では軽視されていた典座という役職の大切さにあらためて気づかれたからです。



三心

道元禅師様は『典座教訓』の中で三心をお説きになられています。これは、典座の任を務めるにあたり、常に心掛けなければならぬ三つの心です。

- 一、喜心
喜悦(喜び)の心。何事においても、させていだいていっているという感謝と喜びの心です。
- 一、老心
親が子を思うように他の人を思いやる心。いわゆる老婆心と言われるほど細かいところまで気配りをする懇切丁寧な思いやりや慈しみの心です。
- 一、大心
山の如く不動で海の如く広く寛大な心。何事にも偏らず、全てを平等に受け入れる差別のない心です。



五観の偈

典座老師が三心を込めて作ってくださった料理をいただく時、修行僧は『赴粥飯法』(道元禅師様が著された食事作法の規範)にのっとり食事をいただきます。その際にお唱えする五観の偈は、食材に対する感謝や仏道修行としての食事をいただく精神を表しています。

一つには功の多少を計り、彼の来処を量る。

二つには己が徳行の全欲を付って供に応ず。

三つには心を防ぎ過を離るることは、貪等を宗とす。

四つには将に良薬を事とするは、形枯を療せんがためなり。

五つには成道のための故に、いまこの食を受く。

精進料理のレシピ

もやしと塩こんぶあえ



- 【材料】
- モヤシ 適量
 - 塩昆布 少量
 - 塩 小さじ1
 - お好みで…白ごま(小さじ1)、またはごま油(小さじ1)
- ① 沸騰したお湯の中に塩を入れてからモヤシを入れ、30秒、1分程度湯がきます。
 - ② モヤシをザルに上げて水気を切ったら、しばらく冷まします。
 - ③ 冷ましたモヤシと塩昆布を混ぜ、お好みで白のすりごまやごま油を入れます。

青年会ウェブサイト「WEB緩歩」で精進料理のレシピを紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://sizusosei.com>

一年間宜しくお願い致します。



監事
横井健靖

西村会長を補佐し、和敬清寂を旨に精進していきたいと思ひます。



副会長
伊藤晋英

会長を補佐するという職務はもとより、執行部と会員間の関係をより密にできよう努めます。



副会長
今枝真一

新執行部紹介
新しい執行部メンバーをご紹介します。二年間よろしくお願ひ致します。

諸先輩方の足跡を辿りつつ、議事が円滑に運ぶよう任に当たりたいと思ひます。



中部理事
丹羽崇元

微力ながら理事を二年間、精一杯努めさせていただきます。



東部理事
齋賀宝道

理事として青年会の支えとなるよう務めさせていただきます。



東部理事
松本揚裕

監事として青年会の円滑な運営が行えるよう努めます。



監事
阿部孝悦

諸先輩方よりの想いをしっかりと引継ぎ、当会の更なる飛躍に尽力させていただきます。



事務局長
磯田和明

理事として青年会をより良いものにするよう努めさせていただきます。



西部理事
糸柳格彰

この青年会をより良い会にできるよう、努めてまいります。



西部理事
長尾大乗

理事会が円滑に進むよう、役目を全うしたいと思ひます。



中部理事
平尾隆朋

新たな視野を広げる活動を目指していきたいです。



広報委員長
加藤佳秀

会員皆様の更なるボランティア精神向上を目指し務めてまいります。



ボランティア委員長
山田高之

任を全うできるように精一杯努めさせていただきます。



教化研修委員長
兒玉正見

役を頂いた責任を全うし、より良い会になるよう尽力いたします。



会計
青木秀晃

貴重な機会を頂きましたので、一つでも多く経験を今後に役立てたいと思ひます。



書記
木南全峰

いただいた役、微力ではありますが精一杯努めてまいります。



書記
近藤芳秋

微力ではありますが、気持ちを忘れず精進していきたいです。



書記
前島勇哉

青年会の発展のため、ただひたすらに努力をいたします。



庶務
稲葉俊隆

梅花観音霊場めぐり【西部③】

第九十二番
法城山
富洞院
法の城
四季を彩る
花々に
深きみ教え
永久に伝うる



藤枝市
南駿河台



第九十三番
岸谷山
龍江院
大井なる
川瀬きらめく
岸谷は
金龍躍る
み仏の里

島田市
岸

第九十四番
青原山
静居寺
青原の
おもかげここに
映す寺
静かに坐して
こころやすらぐ



島田市
伊太

第九十五番
延命山
養徳寺
延命の
恵みぞ深き
養徳寺
拜むこの身の
妙に安らう



島田市
相賀

第九十六番
嶋田山
快林寺
かぎりなき
施無畏の誓願
あらたかや
島田の宿に
慈光みつれば



島田市
幸町

第九十七番
正受山
盤石寺
大井なる
千代の流れの
磨きける
盤石寺に
み仏の声



焼津市
中島

第九十八番
吉永山
高岳寺
きらめくは
駿河の海や
高岳の
み寺に清き
松風の音



焼津市
利右衛門

第九十九番
宗高山
高德寺
かぎろえる
宗高の野に
み仏の
深き慈悲を
讃えまつらん



焼津市
宗高

第百番
中根山
泰善寺
泰善の
み山に坐す
み仏に
香りゆたかな
梅花捧げん



焼津市
中根

第百一番
保福山
貞善院
よしあしに
まよう浮世の
さしも草
わたすやいづの
法の船こぐ



焼津市
焼津

第百二番
當目山
弘徳院
み仏の
功德を積み
當目山
詣るこの身に
光る松風



焼津市
浜当目

藤枝・焼津の梅花観音霊場をご紹介します。